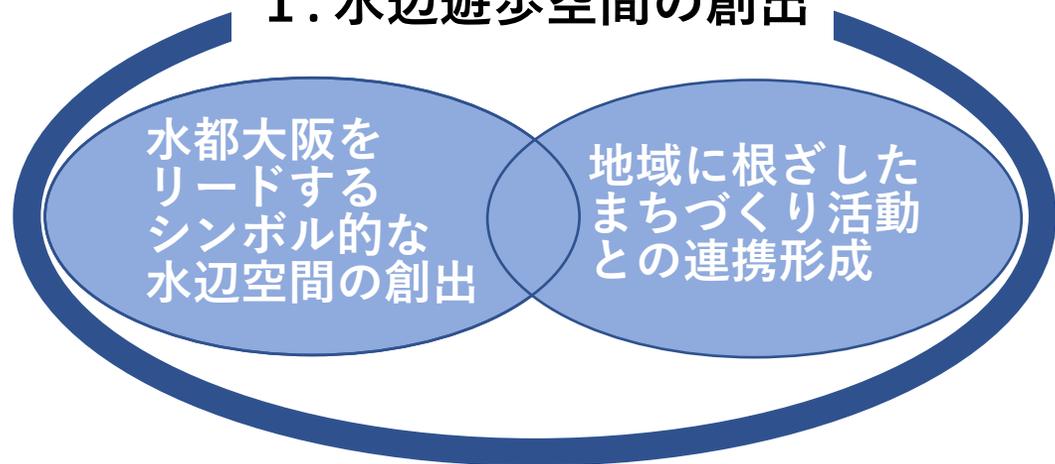


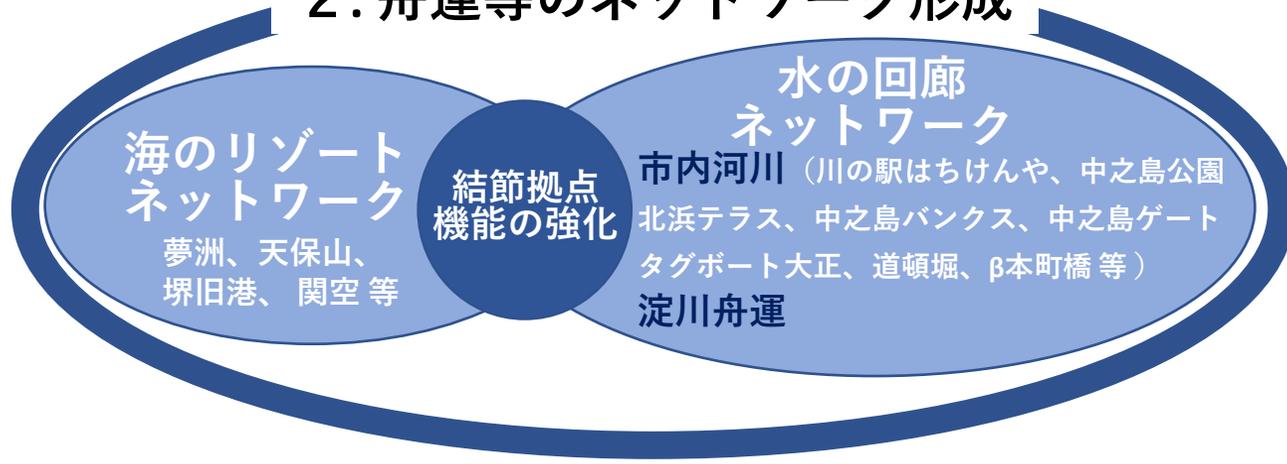
IV. 構想の二つの柱

「水辺遊歩空間の創出」と「舟運等のネットワーク形成」によりエリアの水辺賑わいづくりを実現

1. 水辺遊歩空間の創出

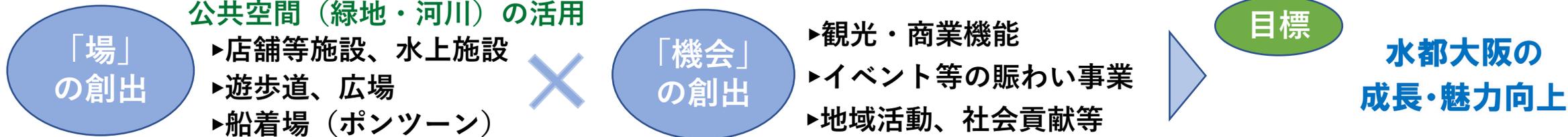


2. 舟運等のネットワーク形成

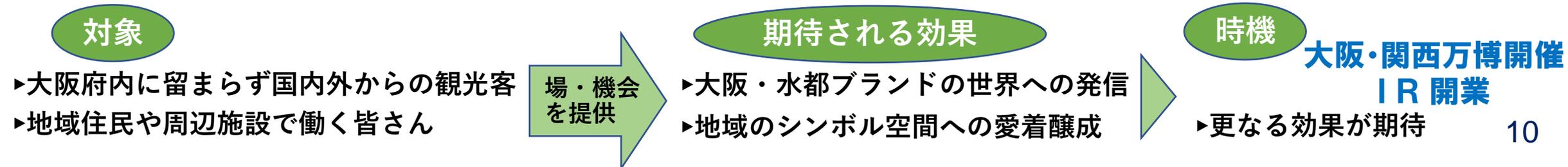


【本構想の意義・目的】

① 水都大阪の成長・魅力向上につながる「場」と「機会」を『公民連携』により創出



② このエリアを訪れるすべての人々に、「場」・「機会」を通じて大阪・水都を感じてもらう



IV. 構想の二つの柱【1. 水辺遊歩空間の創出】

1. 水辺エリアの賑わいを創出することで、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンやシティウォーク、ユニバーサルポートなど周辺施設と一体となった魅力的なアーバンリゾートエリアを形成



水辺遊歩空間の創出

水都大阪をリードするシンボリックな水辺空間の創出

地域に根ざしたまちづくり活動との連携形成

■人の流れを呼び込む施設・運営計画

- ・魅力ある店舗、遊歩道、広場整備
- ・水辺を親しむ空間形成
- ・集客が期待できる店舗運営 等

■回遊性に優れた動線計画

- ・周辺施設から遊歩空間への往来を快適につなぐ

■魅力ある水辺景観の創出

- ・周辺施設と調和のとれた施設計画
- ・都心、大阪湾の眺望を活かした視点場形成
- ・対岸、船上からの視対象としての景観形成

■賑わい・活気にあふれた活動の展開

- ・水辺利用を促進する賑わい事業
- ・人々を惹きつけるプロモーション活動

■地域と連携した取組みの推進

- ・地域の事業者や住民等による地域貢献活動 等

■安全・安心な水辺空間の形成

- ・安全安心な遊歩道、広場整備 (保安対策)
- ・災害に対する安全対策、連絡体制の確立